

- 店1945. 11月発行P375
- 2) 大後美保(1949): 農業気象による豊凶予想法  
資料社1949, 4月発行P66~69
  - 3) 中田良雄(1957): 新潟県の水稲反収と気象 研  
究時報9巻6号P379~393
  - 4) 国井幸次(1955): 新潟県米収量の高温障害 農  
林気象3 No. 9. P2~7
  - 5) 新潟県農林統計協会(1963): 農作物累年生産統  
計表1963. 10月刊行
  - 6) 同上(1968): 昭和42年産水陸稲生産統計 1968,  
1月刊行
  - 7) 大後美保(1940): 豊凶序論 産業気象調査報告  
7巻2号P139~152
  - 8) 同上(1941): 水稻の豊凶に関する研究 産業気  
象調査報告9巻1号P201~234
  - 9) 鈴木雄次, 大後美保(1942): 日本内地に於ける  
主要農作別の年別豊凶図並びに豊凶型 産業気象  
調査報告10巻2号P233~270
  - 10) 日本気象史料, 高田市史, 天候と天災誌による
  - 11) 気象庁(1961): 気象庁技術報告第7号1961, 3  
月発行資P356~357

## 第15期第4回常任理事会議事録

日時 昭和43年11月4日 15.00~19.30

場所 気象庁観測部会議室

出席者 山本理事長, 大田, 竹内, 朝倉, 根本, 大  
井, 岸保, 小平, 北川, 松本常任理事

報告

庶務: 11月1日財団法人藤原科学財団理事長から, 第  
10回藤原賞受賞候補者推薦依頼がきた。

メ切44年2月28日

藤原賞: 近く委員会を開き委員長を決め, 受賞者選  
衡方針を協議する。

国際交流: 1. 民主共和国気象界との交流についてベ  
トナム友好協会の伊藤氏の手許にある資料のうち関係あ  
るものをしらべ天氣に寄稿したい。

また適当な機関に気象集誌の寄贈をするようにした  
い。

2. 今後の計画を次のとおり決めた。

(イ) 米, 英等の文献のよくわかっている国以外の国の  
文献のリストを作りたい。

またそのような国からの来訪者(国際会議などで)が  
あれば, 講演会等を開いて情報を得るようにしたい。

(ロ) 日本にある国際友好団体のもっている資料のうち  
関係のあるものを集めたい。

なお次回の委員会は朝鮮大学校の見学を兼ねて12月6  
日に開く予定。

外国文献リプリント刊行準備委員: 各分野の専門家に  
対し Selected Meteorological Papers 刊行計画を添え,  
本刊行物の内容および収録すべき論文についての意見を  
12月15日までに出して貰うよう書面に出した。

議題

議決事項

1. 今後の大会の運営について

(1) 次回から実行することがら。

(イ) 名古屋大会の実績から考え講演申込締切および予  
稿締切期日をもう1ヶ月程度早めたい。

(ロ) 希望部門をもう少し詳しく書いて貰い, セッショ  
ンの編成について工夫する。

(2) 今後の大会のあり方について

(イ) 会場数と会期 3会場会期3日, 2会場の場合は  
会期4日が望ましい。

(ロ) セッションの組み合わせ 綜観気象と力学のように  
関連する部門は連続するように日程を配慮する。

(ハ) 内容のチェック 気象学会の講演に相当であるか  
否か, また1人で2つ以上の講演を行なう場合などにつ  
いては内容をチェックしてきめる。

(ニ) 月例会のあり方について 月例会のあり方を講演  
企画委員会で再検討する。

2. 気象界(日中国交回復)連絡事務局からの寄付受  
入れについて

寄付金約1万円受入れる。この経費は中国関係の文献  
調査に使用することにする。

3. 科学研究費補助金第一段階審査委員の推薦につ  
いて

日本学術会議と学協会との懇談会の席上標題の件につ  
き11月中旬までに用意するようにとの話がでた。

委員の推薦は岸保理事に一任する。

岸保理事は気象分科学に諮って決める。

承認事項 小林紘士外11名の入会を承認する。